一般質問

一般質問とは、議員が町の現在の施策、将来の考え方や説明を町長などに求め、町民のための適切な町政運営を行っているか質すものです。

水災想定

再編後の学校環境の安全は

答弁 施設の安全を教育委員会で検討する

髙橋功人（たかはしいさお）議員

Q 多くの被害をもたらした東日本台風後の「洪水ハザードマップ」や地域防災計画の「浸水予想図」。さらに、最近の豪雨被害のデータなどから、河川の近くにある小学校は、児童や保護者が安心できる場所といえるのか。

A 学校教育課長 十分な安全が確保できる場所ではないかと認識しています。

Q 危機管理の鉄則は最悪を想定して準備すべきだと思うが。

A 学校教育課長ほか 浸水エリアに隣接する位置なので絶対安全であるとの保障はありませんが、現在のところ計画の変更は考えていません。今後、教育委員会で検討するのはよいのではないかと考えます。

水災が懸念される合流付近

土砂流出

被害状況と当町の対応は

答弁 事業者に改善計画の提出を指示した

笹本孝幸（ささもとたかゆき）議員

Q 今年7月に発生した下里地内「小川町太陽光発電事業」地からの泥水流出事故の概要と被害状況は。

A 環境農林課長 降雨により事業地内から表土・木くず等が雨水と混ざり泥水となって、道路、水路などに流出したものです。国道・町道や民家の敷地内、水田等、かなり広範囲に流出し、槻川でも泥水を確認しています。

Q 事故後の事業者に対する町の対応は。

A 環境農林課長 流出事故当日、再三、早急な原状回復と地域住民への対応をきちんとするように指示しています。

Q 改善計画提出後の住民説明会は。

A 環境農林課長 下里三区、四区への説明会を求めています。

泥水流出の事業所入り口付近

樹木管理

官地等の樹木管理は

答弁 状況に応じ、剪定や伐採を行っている

笠原規弘（かさはらのりひろ）議員

Q 大塚八幡神社参道の桜並木が伐採されたが、判断に至る経緯は。

A 建設課長「幹が空洞化している」と情報があり、専門家に調査を依頼したところ、寿命をはるかに過ぎている診断結果でした。住民及び通行者の安全を第一に考え、道路管理者である町が伐採しました。

Q 作業が困難な住宅密集地において、伐採や伐根の費用は多額となるようだ。町はどう関与していくのか。

A 環境農林課長 私有地における木々はあくまでも個人の管理が原則です。相談があった場合は、専門業者の紹介等の助言を行います。

●その他の質問

リリックおがわ大ホールの修繕を

名残惜しいけど正しい判断

若者の声

若者未来会議の事業継続を

答弁 これまでの活動をふまえ検討する

髙橋さゆり（たかはし）議員

Q 若者未来会議の取り組みについて進捗は。

A 政策推進課長 新型コロナの影響で、フードフェスの開催を見直し、町内飲食店の魅力を発信する動画制作に転換を図りました。フォトブック制作と並行して邁進しています。

Q 若者未来会議との座談会を経験して、本事業の継続や、新たな展開・充実を求めるが。

A 政策推進課長 第2期若者未来会議の活動期間は今年度で満了です。今後も、町内外の若者が小川町を知り、理解を深める場を創出するとともに、積極的に若者の意見を聴く機会を設けられるよう、これまでの活動をふまえ前向きに検討します。

●その他の質問

生理の貧困について

若者未来会議との座談会

町中散歩

日帰り観光の町づくりを

答弁 町中散歩を楽しめる町を目指します

山口勝士（やまぐちかつし）議員

Q 来年の大河ドラマは「鎌倉殿の十三人」。この機会に「仙覚律師」「万葉モニュメント」を活かした駅周辺の町中散歩の活発化は。

A にぎわい創出課長 モニュメントは老朽化が進み、令和元年度に修繕を行いました。「仙覚万葉コース」を設置していますが、この機会にさらなる活用を図っていきたいと考えます。

Q 広がりを見せる城ブームだが、「御城印」の収集も魅力の1つとなっている。和紙の利用促進等にもつながる御城印の取り組みを。

A にぎわい創出課長 小川町には数ヵ所の中世山城があり、県指定史跡の山城もあります。御城印の発行や和紙活用など、観光協会等と研究していきます。

万葉モニュメントの活用は

プリム跡

環境保全条例の改正は

答弁 見直しが必要であると捉えている

笠原英彦（かさはらひでひこ）議員

Q 事業者は30ヘクタールの森林伐採を計画している。当然容認できるはずはないが、見解は。

A 環境農林課長 太陽光発電事業は正に自然環境との調和です。埼玉県と情報共有を図り、町民の意見を届けていきます。

Q 土砂災害警戒区域に指定されている隣地の開発事業について、災害リスク等は。

A 環境農林課長 森林法の許可基準に沿った事業計画になるよう、事業者に求めていきます。

Q 町から埼玉県に提出した意見書の中身のポイントは。

A 環境農林課長 土砂災害防止対策の徹底、生物の多様性の保存などです。

緑豊かな自然環境を残したい

小川町議会だよりは 文字にコダワル！ 高齢者や視覚の弱い方にも読みやすいユニバーサルデザインフォントを使用します！

自分に甘えないことを教えてもらいました。（B・Tさん 20代）

侍ジャパンの活躍に感動！やはり日本の野球は世界一だった。（S・Tさん 32歳）

卓球が楽しかった。（M・Mさん 20代）

柔道の阿部選手兄妹、同時の金メダルでかっこいいと思いました。（N・Mさん 14歳）

昔、スケボーをやっていたので、男女ダブル金メダル獲得に泣いた。（K・Kさん 36歳）

つづく！